



なかよしメール 5月

洞爺湖町子育て支援センター TEL 0142-76-2008

メールアドレス kosodate.center@town.toyako.hokkaido.jp

R5年5月1日

新年度がスタートして、早くも1ヶ月が経ちました。暖かい日が続いたり、急に肌寒くなったり不安定なお天気ですが、お花が咲いたりアリなどの小さな虫たちが顔を出してきています。開設・開放時には、外遊びをして、子ども達が様々な発見をして楽しめるようにしていきたいと思えます。外遊びの準備をお願いします。新型コロナウイルスが5類に引き下げとなりますが、拡大防止のため、家庭での検温・手洗い・消毒など、感染対策のご協力を引き続きお願いします。

【持ち物】帽子・水分補給(水かお茶)・靴・タオル(汗拭き、手拭き)・コップ・着替え・ベビーカー(必要な方)などの用意をお願いします。

「開設」

支援のお部屋には興味のあるものがいっぱい！ボールを投げたり、車のおもちゃで沢山遊びました。おままごとでは「かんぱーい」とやり取りを楽しんでいました。



お昼寝アートやります！

今年度も大好きなお母さんに「ありがとう」の気持ちを伝えるお昼寝アートを用意しました。ぜひ、撮りに来てください。



「本町保育所開放」

今年度、初めての保育所開放にお友だちが遊びに来てくれました。始めはちょっぴり緊張してママの膝に座っていましたが、慣れてくると、色々な玩具に触れたり、振ったりして遊んでいました。

1, 2歳のお友だちと一緒に「だるまさんと」の大型絵本を見て、楽しそうに過ごしていました。



「入江保育所開放」

1組のお友だちが遊びに来てくれました。ひよこ・ちゅうりっぷぐみのお友だちと一緒におもちゃで遊び楽しく過ごしました。ホールではみんなで手遊びをしたり、「だるまさんが」の大型絵本を見ました。



5月の予定カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
	1 開設	2 開設	3 憲法記念日	4 みどりの日	5 こどもの日	6
7	8 開設	9 開設	10 桜ヶ丘保育所 開放	11 親子ふれあい遊び 地域交流センター	12 本町保育所 開放	13
14	15 開設	16 開設	17 洞爺保育所 開放 (計測)	18 開設	19 本町保育所 開放	20
21	22 開設	23 開設	24 本町保育所 開放	25 親子ふれあい遊び 洞爺ふれ愛センター	26 本町保育所 開放	27
28	29 開設	30 開設	31 開設			

「親子ふれあい遊び」

★手作りおもちゃ

*ペットボトルの中に色々なビーズを入れて、ポコポコボトルを作ります。ビーズがキラキラ落ちる様子を眺めたり、転がして遊びましょう。

日時 5月11日(木)

10:00~11:30

場所 地域交流センター

日時 5月25日(木)

10:00~11:30

場所 洞爺ふれ愛センター

持ち物 タオル、着替え、ジャンパー、帽子、水分補給物(水か麦茶)
汚れてもよい服装でお願いします。

***予約制**なので**申込みが必要**です。

(電話での申込みも大丈夫です。)



*6月の親子ふれあい遊びは、「しゃぼん玉遊び・センサーバック作り」です。手作りおもちゃを作って遊びます。沢山の参加をお待ちしています。予約制なので参加したい方は、子育て支援センターまでご連絡ください。

『ことばを育てる最初の一步』

0, 1, 2歳時期は、ことばを獲得する大切な時期です。

0才児・・・ことばの始まり

赤ちゃんは快・不快を泣いたり声に出して知らせようとします。月齢が高くなると喃語や指さし、表情でコミュニケーションをとるようになります。

<かかわりのポイント>

*心に寄り添う

- 言葉をかけられることで安心感や期待感も膨らみます。寂しい気持ちや嬉しい気持ちに共感していきましょう。
- 喃語を真似て一緒にお喋りしたり、くすぐる、撫でる、触るなど体にふれていっぱい遊んであげましょう。笑い声、歓声が言葉に繋がります。
- 子どもが指さすものや表情を受け止め、伝わる楽しさを感じられるようにじっくりと向き合しましょう。

1才児・・・意味のあることばの獲得

「ママ」「パパ」「ブーブー」の一言でも子どもにとっては「ママこっちに来て」「パパ行っちゃった」「ブーブー来た」など気持ちを込めた言葉です。

<かかわりのポイント>

*やりとり遊びを盛んにしよう

- 「はい どうぞ」「ちょうだい」などのやり取り遊びを通して人との楽しいやりとりを経験することでおしゃべりが身についていきます。また言葉にならない表情や動作から、子どもの思いや欲求を受け止め「ブーブーきたね」など気持ちを言葉にして返したり、ゆっくり、はっきり、繰り返し話しかけることで二語文に繋がっていきます。

2才児・・・行動やイメージをことばに

「見て見て」など自分のしたい事や感情を言葉や見振りや行動も加えて伝えようとします。思いが伝わらなかったり、思い通りにならなくて泣いたり、だだこねをするのもこの時期です。

<かかわりのポイント>

*規制する言葉がけを少なくしよう

- 言われていることは理解していても、「だめ」と行動を規制してしまうと我を張ってしまいがちです。「～がしたかったのね」「～が大好きなのね」など子どもの気持ちや思いを言葉にして伝えると「ちょっとならしてみようかな」という気持ちが生まれてきます。子どもは大人の言葉を聞きながら成長し言葉を育てていきます。

(あそびと環境0・1・2歳引用)